

タケシールC7M-NA工法 平場部

工 程	使用材料	使用量	方 法	※1 次工程までの作業間隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、かおソフイーにて下地調整	
プライマー塗布 (接着剤塗布)	タケシールE-500 [®] プライマー	0.3kg/m ²	タケシールE-500 [®] プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	2時間以上 4時間以内
通気緩衝シート 貼り	通気シートEMT-0308AL	1.0~1.1 m ² /m ²	シワがよらないように通気シートEMT-0308AL を貼り付け	直ちに
脱気筒設置	タモ ステンレス脱気筒	1箇所/ 30~50m ²	所定の場所にタモ ステンレス脱気筒を設置	直ちに
ウレタン防水材 塗布1回目 (目止め)	タケシール1液NEO+ 増粘材K ※3	0.9kg/m ²	タケシール1液NEO+に増粘材Kを 混合した塗布液をコテ・ヘラ等で塗布	24時間以上 3日以内 ※2
ウレタン防水材 塗布2回目	タケシール1液NEO+	1.5kg/m ²	タケシール1液NEO+をコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内 ※2
ウレタン防水材 塗布3回目	タケシール1液NEO+	1.5kg/m ²	タケシール1液NEO+をコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内 ※2
トップコート塗布	タケシールSSトップ	0.12~0.15 kg/m ²	タケシールSSトップ [®] のA液とB液を1:10 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 24時間以上
設 計 膜 厚		3.0mm		

※1 作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

※2 タケシール1液NEO+塗布後3日(72時間)以上経過した場合は塗膜表面をタケシールECOシンナーを染み込ませたウエスで清掃し、
タケシールNo.400プライマーを0.1kg/m²程度塗布した上、次工程に移ること

※3 タケシール1液NEO+に対する増粘材K添加量の目安は下表の通り

荷姿	増粘材K添加量
18kg缶の場合	450g~540g
10kg缶の場合	250g~270g

※ タケシールE-500プライマーに替えて、タケシールNo.400プライマー或いは、タケシールAE-211プライマーを使用してもよい

立上り部

立上り部は タケシールC4-NAT工法

